

福山市緑町公園屋内競技場屋内プール増設 基本計画

2021年(令和3年)12月

福山市

目次

1 計画条件等の整理	1
1.1 はじめに	1
1.2 上位関連計画	2
1.3 計画地の概要	4
1.4 計画上の課題	13
2 施設整備の基本方針・導入機能	14
2.1 基本方針	14
2.2 導入機能	14
3 施設整備計画	16
3.1 ゾーニング・動線計画	16
3.2 諸室の検討	19
3.3 必要諸室及び規模	22
3.4 施設イメージ図	23
3.5 駐車場及び駐輪場の検討	24
3.6 配置計画の検討	25
3.7 配置計画	26
4 概算工事費及びスケジュールの検討	27
4.1 概算事業費の検討	27
4.2 事業スケジュール(案)	27

1 計画条件等の整理

1.1 はじめに

本市の水泳場については、2013年(平成25年)11月に「福山市社会体育施設基本計画」を策定し、統廃合・効率的な施設整備の方策を示すとともに、2020年(令和2年)2月に「福山市スポーツ施設再編方針(庭球場・水泳場)」を策定し、市内水泳場の再編のあり方を具体的に示し、水泳場の統廃合による「適正配置(集約化)」及び大規模大会の実施を可能とする「拠点機能の強化」を図ることとしている。

本計画は、「福山市スポーツ施設再編方針(庭球場・水泳場)」に基づき、廃止される水泳場の代替とともに、市民の利用機会の拡大に繋がるよう福山市緑町公園屋内競技場(以下「福山通運ローズアリーナ」という。)に、新たに水泳場を整備するために策定する。

1.1.1 施設整備の建設予定地

本事業の施設整備の建設予定地は、以下のとおりである。

広島県福山市緑町9番地5(福山市緑町公園)

1.2 上位関連計画

1.2.1 福山市社会体育施設基本計画

本市のスポーツ振興に係る施設に関して、施設整備の現状を客観的に評価するとともに、新たな施設整備の必要性を含めて、全市的な再整備のあり方を示すものである。

項目	概要
基本理念	市民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向け、安全性を重視して、社会体育施設の再構築を行う。 公共施設のあり方について3つの柱 ○適正配置, 保有総量の縮小(統廃合・再配置) ○効率的・効果的な活用 ○計画的保全, 長寿命化(更新コストの縮減)
実現すべき姿	「市民が1週間に1回以上, 運動する習慣があるまち」を実現するための施設整備
施設整備の基本的な方策	○水泳場…老朽施設の統廃合を進める 老朽施設が多く大規模な修繕が必要な不具合が発生しやすくなっていること, 安全性の確保及び選択と集中の観点から適正配置を実現するため, 統廃合により集約するなど, 維持管理コストを抑制する。 また, 競技者は民間施設を多く活用しており, 民間施設との連携を図る必要がある。

1.2.2 福山市公共施設等サービス再構築基本方針

今後の人口の減少を見据え、限られた財源の中、将来の世代に負担を先送りすることなく、コスト管理を徹底しながら、最小の経費で最良の公共サービスが提供できるものに再構築・再整備することをめざすものである。

項目	概要
期間	2016年度(平成28年度)～2045年度(令和27年度)
基本理念	社会の変化に的確に対応し、将来にわたり活力のある、持続可能なまちづくりをめざし、公共施設等の再構築・再整備を通して最適な公共サービスの提供を実現する。
取組方針	○適正配置, 保有総量の縮小 ○効率的・効果的な活用 ○計画的保全, 長寿命化(更新コストの縮減)
目標	公共施設(ハコモノ)全体の総延床面積を30年間で20%縮減する。

1.2.3 福山市スポーツ施設再編方針(庭球場・水泳場)

老朽施設の統廃合・効率的な施設整備の方策が示された水泳場について、施設の統廃合や機能の複合化などの再編のあり方を具体的に示すものである。

項目	概要
方針	<p>○適正配置(集約化)</p> <p>老朽化による大規模な修繕を必要とする不具合が発生しやすくなっているため、竹ヶ端運動公園水泳場、丸之内公園水泳場等の老朽化施設を統廃合し、施設の適正配置に努める。</p> <p>○拠点機能の強化</p> <p>「拠点機能の強化」の観点から、福山通運ローズアリーナにサブプールを併設した施設の整備を検討する。</p>

1.2.4 福山市地域防災計画

災害対策基本法の規定に基づき作成する災害対策に関する計画である。災害予防、災害応急対策及び災害復旧等を総合的・計画的かつ有効的に実施することにより、住民の生命・身体・財産を保護するとともに、地震及び風水害等による被害の軽減を図り、社会の秩序の維持及び公共の福祉に資することを目的としている。

項目	概要
期間	災害対策基本法第42条の規定に基づき毎年検討、必要があるときに修正
基本理念	災害を未然に防止するとともに、災害発生時における応急措置等の迅速かつ的確な実行を期する。
方針	<p>公共施設等防災拠点となる施設の耐震性、防災性の向上を図り、また災害を防止、緩和するオープンスペースの整備を行い、防災性の高い都市構造の形成をめざす。</p> <p>○防災上重要な公共施設等の整備</p> <p>○防災性の高い都市構造の形成</p>
整備計画	<p>○防災上重要な建築物の整備</p> <p>防災拠点となる公共施設の整備及び耐震化・津波災害対策の向上。</p> <p>○防災公園の整備</p> <p>市は県と連携して、地域防災計画に位置付けられた避難場所となる緑町公園等の都市公園については、防災上の視点から必要な整備を推進するとともに、広域避難場所に指定された緑町公園等の都市公園については、機能分担を踏まえ、備蓄倉庫、耐震性貯水槽等の災害応急対策施設の整備を推進し、防災機能の充実を図る。</p>

1.3 計画地の概要

1.3.1 交通網

本施設は、緑町公園内に計画する。緑町公園は、JR福山駅から車で約 10 分、山陽自動車福山東 I.C.から約 20 分、福山西 I.C.から約 30 分の位置にある。周辺には中国バスの緑町公園前バス停、西側には緑町バス停がある。



図 1-1 緑町公園位置図(広域)



図 1-2 緑町公園位置図



図 1-3 緑町公園詳細図

1.3.2 緑町公園

緑町公園は、本市の中心部に位置し、1995年(平成7年)に市民のスポーツやレクリエーション・憩いの場としての機能だけではなく、都市防災の機能も兼ね備えた総合公園として整備された。六角錐状のピラミッド型のばら園は「ローズヒル」と呼ばれ、市の花である「ばら」330種・5,100本を中心に整備されている。

表 1-1 緑町公園概要

公園名	緑町公園
所在地	福山市緑町9番地5
公園面積	約8.1ha
公園種別	総合公園
開園時期	1995年(平成7年)5月31日
地域防災計画での位置付け	広域避難場所
建ぺい率	約9.02%
沿革の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・1990年(平成2年) 防災緑地緊急整備事業認可 ・1993年(平成5年) 総合公園事業認可
主要施設 (防災機能)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内競技場 建築面積 5,982.28 m² 延床面積 13,111.35 m², 地下1階, 地上2階で鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造, 鉄骨造(避難収容施設) ・屋外ステージ兼用備蓄倉庫 建築面積 468.78 m², 延床面積 679.54 m² / (備蓄倉庫, 備蓄面積 299.2 m²) ・スプリンクラー(防災スプリンクラー) ・外周樹林帯(防火樹林帯) ・水路, 池(防火用水) ・耐震性貯水槽(消火用, 災害時生活用水) ・放送施設 スピーカー, アンプ(災害時情報発信) ・多目的芝生公園 約1.32ha ・ばら園 約0.6ha

1.3.3 現地写真

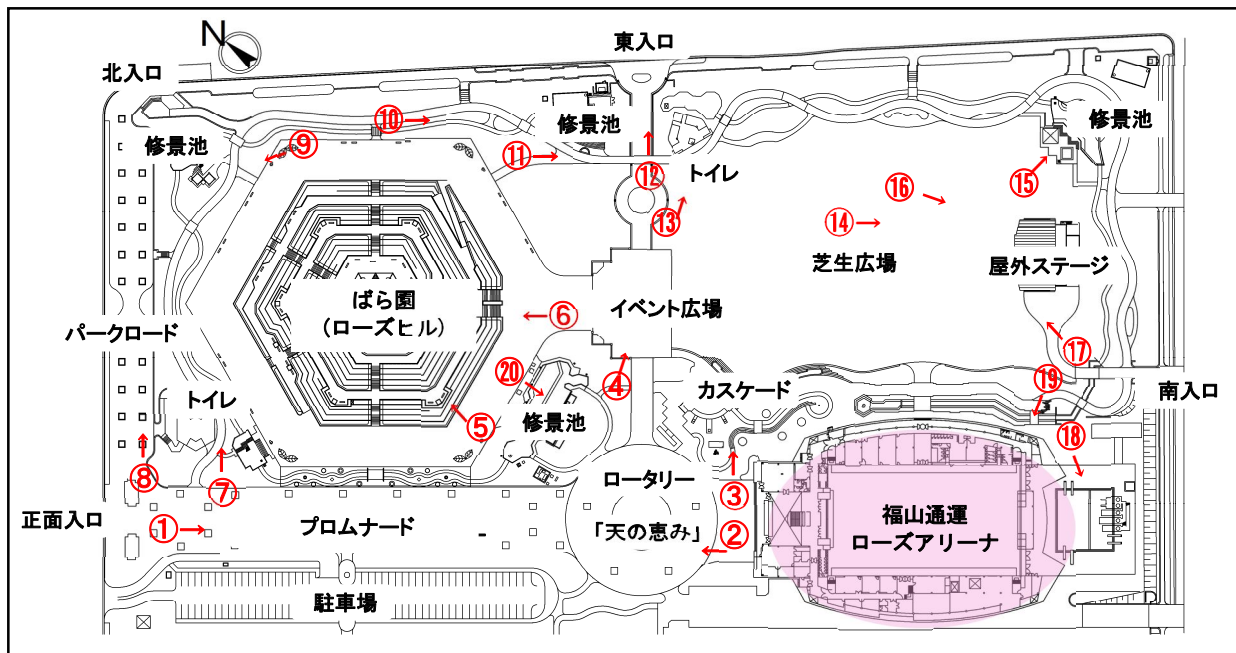


図 1-4 撮影位置図





⑤ばら園(ローズヒル)



⑥ばら園(ローズヒル)



⑦トイレ(正面入口)



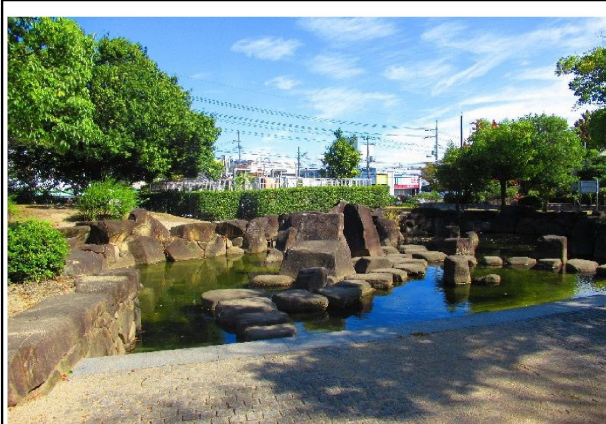
⑧パークロード



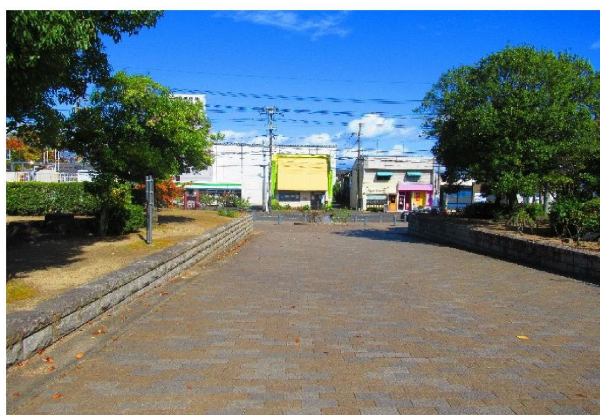
⑨修景池(北入口)



⑩園路



⑪修景池(東入口)



⑫東入口



⑬トイレ(東入口)



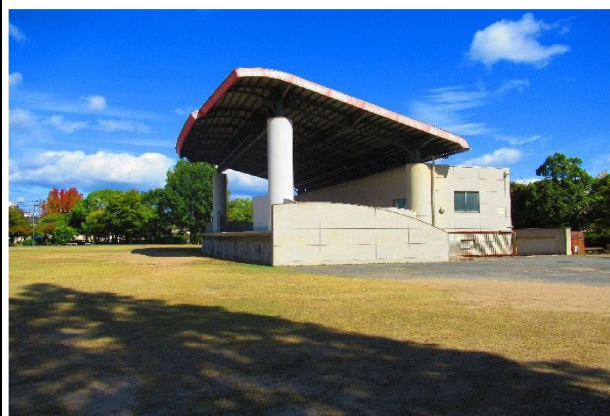
⑭芝生広場



⑮修景池(南入口)



⑯屋外ステージ



⑰屋外ステージ



⑱飛込プール



⑲水路



⑳修景池(正面入口)

1.3.4 福山通運ローズアリーナ

福山通運ローズアリーナは、緑町公園内にある体育施設である。夏季は屋内プールとして利用でき、夏季以外は床パネルを敷き、アリーナとしてバレーボール、バスケットボールなど、またはイベント会場としても利用されている。

表 1-2 福山通運ローズアリーナ概要

所在地	福山市緑町2番2号		
敷地所有者	福山市		
駐車場	95台		
現況 施設	建築面積	5,982.28 m ²	
	延べ床面積	13,111.35 m ²	
	設置年	1995年(平成7年 経年数26年)	
	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造 鉄骨造 地下1階 地上2階 屋根:鉄骨トラス造りステンレス鋼板葺	
	水面面積	1,620 m ² (50mプール/1,180 m ² +飛込プール/440 m ²)	
	営業時間	午前9時から午後10時まで	
	営業期間	50mプール:6/1~9/15 アリーナ:10/8~翌5/6	
	主な施設内容	<ul style="list-style-type: none"> ・50mプール 50m×23.6m×水深0~3.1m 9レーン(財)日本水泳連盟公認 ・屋外飛込プール 22m×20m×水深5m, 飛込台5m, 7.5m, 10m 飛板:1m, 3m 練習用飛板(公財)日本水泳連盟公認 ・競技場 70m×40m 天井高15~19m, バレーボール・ソフトテニス・バスケットボール4面, バドミントン12面 他 ・トレーニングルーム 	
	収容人数	スタンド固定席:2,540席 特別席:15席 車いす席:6席 アリーナ椅子席:2,300席	
	主な利用形態 (プール)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般利用 ・福山市小学生水泳記録会 ・福山市中学校総合体育大会 ・広島県高等学校総合体育大会 ・福山市総合体育大会 ・福山市スポーツ協会のスポーツ教室 	
利用人数 実績 (プール)	2018年度(平成30年度)	36,334人	
	2019年度(令和元年度)	31,082人	
	2020年度(令和2年度)	17,665人	
	 福山通運ローズアリーナ外観		

1.3.5 法規制及びその他の計画条件

建設予定地の法的条件は、以下のとおりである。

表 1-3 建設予定地の法的条件

法規	法的条件
建築基準法 ・ 都市計画法	<ul style="list-style-type: none"> ・計画地全域 都市計画法に基づく公園 ・区域区分 市街化区域 ・用途地域 近隣商業地域(建ぺい率 80%, 容積率 300%) ・用途地域備考 駐車施設の附置等に関する条例対象地域 ・特別用途地域 緑町公園周辺環境保全地区 ・建築基準法第22条区域 ・景観計画区域 ・立地適正化計画区域内 ・居住誘導区域内 ・都市機能誘導区域(中央)
都市公園法	<ul style="list-style-type: none"> □公園施設の設置基準(法第4条・例第6条) ・公園種別 総合公園 ・名称 緑町公園 ・公園面積 約8.1ha ・建ぺい率 最大12% ・運動施設の敷地面積の割合 50%以下
景観法	<ul style="list-style-type: none"> □大規模行為の届出(第16条) ・大規模行為の届出が必要となる区域 市の行政区域内の土地全体 ・建築物の新築, 増築, 改築又は移転 高さが13mを超え, 又は建築面積が1,000㎡を超えるもの
駐車場法	<ul style="list-style-type: none"> □建築物の新築又は増築の場合の駐車施設の附置(法第20条・条例第3条) ・建築物の用途 特定用途と非特殊用途に供する部分を有する施設 ・地域 近隣商業地域 ・建築物の規模 延べ面積が既に1,500㎡を超えているものの増築 ・駐車施設の基準 増築部分の面積→150㎡ごとに1台

1.4 計画上の課題

本市の水泳場における現状の問題点や課題は、以下のとおりである。

(1) 市内プール施設の集約による維持管理コストの抑制

利用者の安全性の確保や大規模な修繕を必要とする不具合が、発生しやすくなっている。

(2) 市民が通年利用できる施設の整備

福山通運ローズアリーナは夏季のみの営業のため、利用期間の限定による非効率や市内の既存施設 4 施設のうち 2 施設が屋外施設であり、猛暑の影響による水温調節等の問題を抱えている。

(3) 福山通運ローズアリーナの拠点化(大規模大会の開催に備えたサブプールの整備)

「拠点機能の強化」の関連から見ると、現在、市内には大規模大会が可能なサブプールを併設した拠点施設がない。

2 施設整備の基本方針・導入機能

「福山市社会体育施設基本計画」、「福山市公共施設サービス等再構築基本方針」及び「福山市スポーツ施設再編方針(庭球場・水泳場)」等を踏まえ、福山通運ローズアリーナにプール施設を増設するための基本方針・導入機能を検討する。

2.1 基本方針

本施設整備の基本方針は、以下のとおりとする。

- 老朽化した施設の統廃合に伴う拠点化整備
- 年間を通じた市民利用及び単独で大会が開催可能な施設の整備
- 大規模大会のサブプールとしての整備

2.2 導入機能

基本方針を踏まえ、本施設の主な導入機能は、以下のとおりとする。

2.2.1 プール機能

年間を通じて大会の開催や合宿利用が可能な競技用プール 25m(公認 8レーン)を整備する。

水深はサブプールとしての機能に加え、学校授業での利用が予定されていることを前提に 1.00m～1.45m 程度とする。また、障がい者や高齢者などが使いやすいよう、スロープの設置を検討する。

2.2.2 大会開催機能

小・中規模大会の開催時のための観覧席(250 席程度)の整備に加え、大会開催時及び一般利用時において誰もが使いやすい更衣室、トイレ、事務室、医務室等を整備する。

また、大会運営に必要な記録室、放送室、会議室等の諸室を整備するとともに、福山通運ローズアリーナのサブプール機能を果たすための選手動線を計画する。

2.2.3 関連団体からの意見集約

導入機能の検討にあたり、福山市水泳連盟及び福山市スポーツ協会からの意見集約を実施した。主な内容は、以下のとおりである。

(1) 大会の実施に関する意見

- ・短水路(25m)の大会会場としての施設整備を期待。
- ・大会実施において、プールの最深部は深さ135cm以上必要。145cmが望ましい。
- ・25mプールだけで大会運営が可能な放送設備、記録室、観覧席が必要。
- ・大規模な大会を誘致する事により、競技力向上、普及発展に大きく寄与する。

(2) その他施設整備に関する意見

- ・増設プールは、単独で利用できるようにするべき。アリーナ利用時に影響を受けない動線が必要。
- ・現在の招集室から行き来ができ、一体的な活用が出来る事が望ましい。
- ・飛込競技の冬場の練習場について、検討してほしい。

3 施設整備計画

3.1 ゾーニング・動線計画

3.1.1 ゾーニング計画

施設内1階のゾーニング計画の方針は、以下のとおりとする。

- ・コンパクトな施設配置と機能性・利便性を両立した施設計画とする。
- ・運営ゾーンの配置は、適切な施設案内・受付が可能なレイアウトとする。
- ・更衣ゾーンの配置は、福山通運ローズアリーナとの連携性が高いレイアウトとする。
- ・屋内プールは、ドライゾーンとウェットゾーンを出来るだけ明確に区分し、施設利用者の利便性や安全性に配慮する。
- ・プール観覧席は2階とし、片側に計画する。

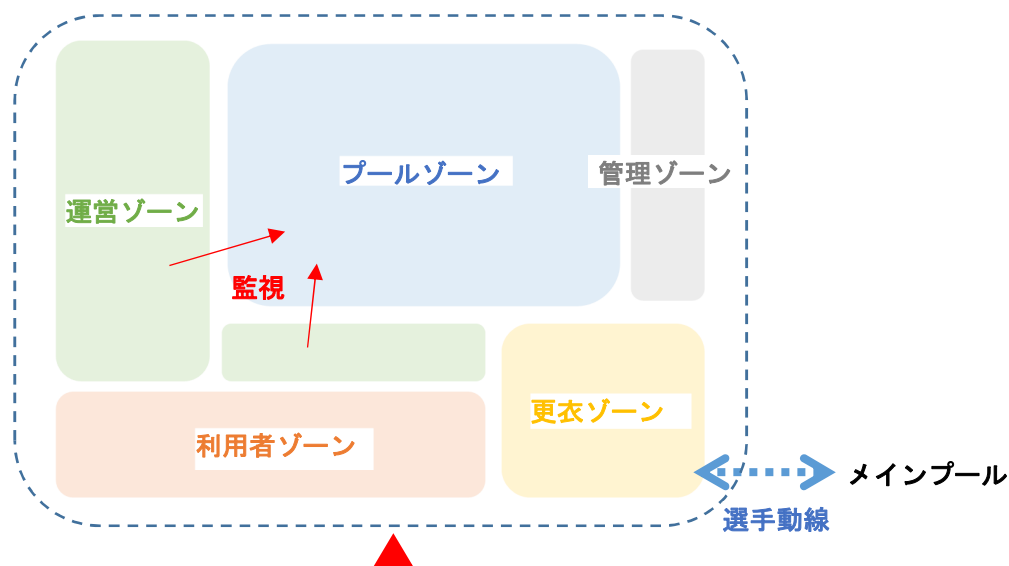


図 3-1 1階ゾーニング計画図

3.1.2 動線計画

本施設の動線計画は、以下のとおりとする。

- ・福山通運ローズアリーナでの大規模大会のサブプールとしての機能を考慮し、連絡性の高い動線計画とする。
- ・大規模大会開催時以外は新設棟単独での運営を想定し、新設棟内で完結した動線計画とする。

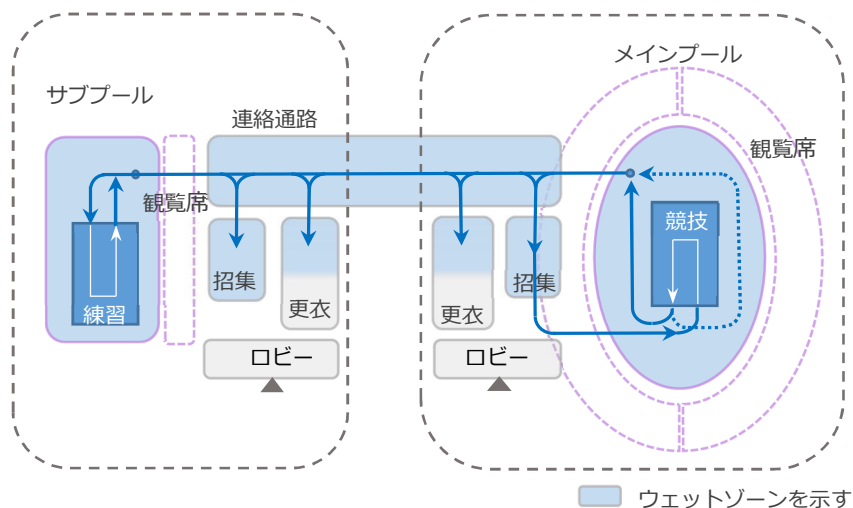


図 3-2 プール選手動線と平面モデル(夏季の大規模大会開催時)

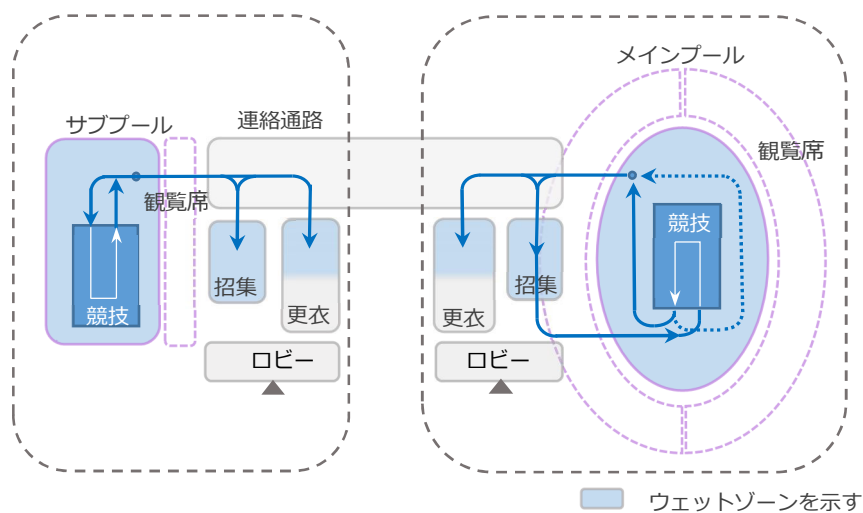


図 3-3 プール選手動線と平面モデル(夏季の単独大会開催時)

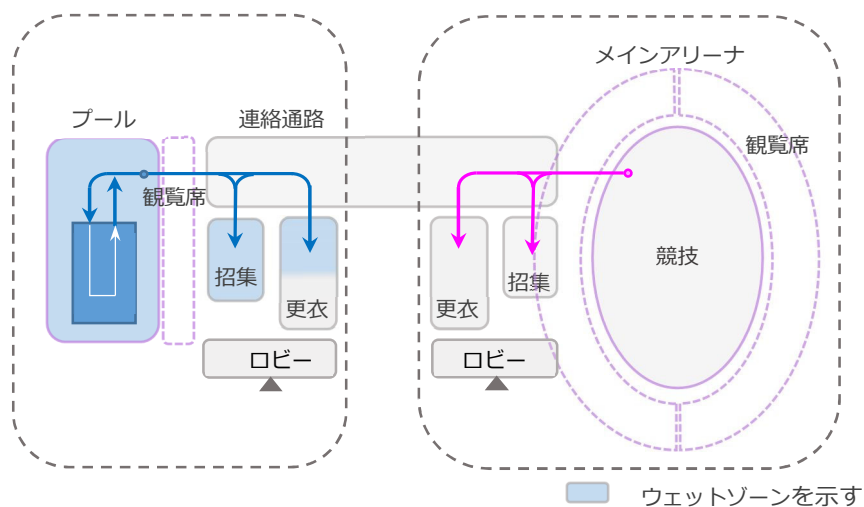


図 3-4 プール選手動線と平面モデル(夏季以外)

3.1.3 各階構成・断面計画

本施設の各階構成・断面計画は、以下のとおりとする。

- ・サブプールに必要な高さを確保しながら、コンパクトな施設配置を実現した階層構成とする。
- ・福山通運ローズアリーナへの連絡通路をプールエリアと同階層に計画する。
- ・観覧ゾーンは2階に配置し、プール全体が見渡せる計画とする。

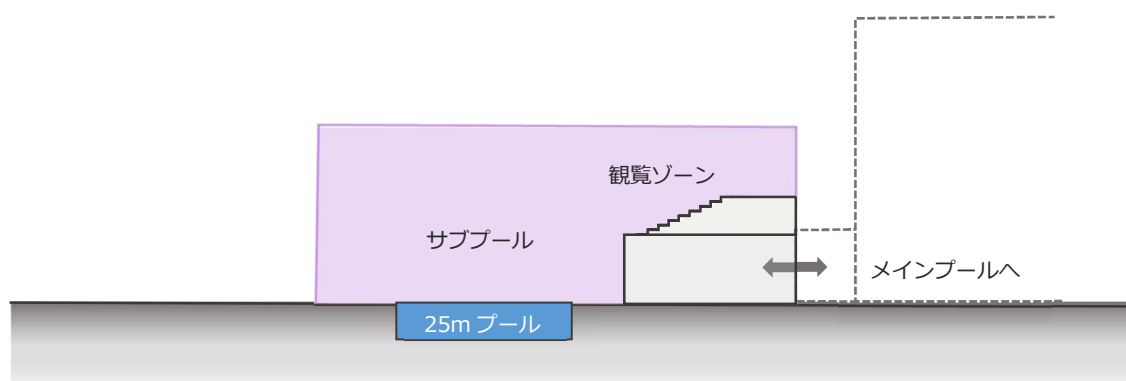


図 3-5 断面イメージ

3.2 諸室の検討

施設整備にあたっては、以下の基準に準拠するものとする。

- ・遊泳用プールの衛生基準(厚生労働省)
- ・プールの安全標準指針(文部科学省・国土交通省)
- ・学校環境衛生管理マニュアル(文部科学省)
- ・プール公認規則(日本水泳連盟)
- ・公認プール施設要領(日本水泳連盟)

3.2.1 プールゾーン

(1) 25mプール

福山通運ローズアリーナで大規模大会が行われる際のサブプールとしての使用や、小・中規模大会等の単独大会の開催が可能な通年屋内 25m プール。公益財団法人日本水泳連盟(JASF)の設置基準に準じ、整備レベルは、JAFS 公認規則の 25m 一般プール以上とし、レーン数は 8 レーンとする。水深は学校授業での利用を考慮し、1.00m～1.45m(スタート側)とする。

表 3-1 25m 一般プールの設置基準

項目		基準
プール長さ	片側タッチ板	25.01m
	両側タッチ板	25.02m
レーン	レーン数	6レーン以上
	レーン幅	2.00～2.50m(2.50mを推奨)
	レーン外余幅	0.20m以上で休息だなの幅以上
	全幅	12.40m以上(15.40m以上を推奨)
水深	-	1.00m以上(1.35m以上を推奨)

参照:プール公認規則 2018年版(日本水泳連盟)

(2) プールサイド

公益財団法人日本水泳連盟の設置基準並びに屋内プール建築設計指針に準じ、端壁スタート側を 5m 以上、端壁ターン側及び側壁側を 3m 以上とする。また、口洗い・洗眼設備を設置する。

(3) 通過式洗浄設備(強制シャワー)

更衣室からプールへの動線に、通過式洗浄設備を設置する。

3.2.2 更衣ゾーン

(1) 更衣室(男・女)

一般利用者が使用する更衣室。男女別に配置し、通路等から更衣室内部が直接見えないように計画する。男女各 100 人程度が使用可能なロッカーを設置する。

洗面及びシャワーブースは、男女各 5 か所を整備する。

更衣室内のトイレは、最小限として、男性大便器 1, 小便器 2, 女性大便器 2 とする。

(2) 多目的更衣室

障がい者スポーツ等の利用を想定した、だれもが使用できる多目的更衣室。車いす使用者, 介助者の付き添いに十分なスペースを設ける。ロッカー, 洗面, シャワーブース, 座って着替えられるベンチ等を配置し, 車いす利用者等に配慮した整備を行う。

3.2.3 利用者ゾーン

(1) エントランスホール・風除室

施設の主出入口として機能する。エントランスホールもしくは風除室内に, 十分な数の下足入れを設ける。

(2) ラウンジ

施設利用者が休憩に利用する自販機やベンチを設ける。

(3) トイレ(男・女)

トイレは, 動線計画を考慮し, 男女別に配置する。着衣で使用するトイレとし, 脱衣後に使用するトイレは更衣室に設置する。便器数は, 観客席数等を考慮し設定する。

トイレ内には, 洗面器, ベビーチェア, 手摺等を設置し, 施設利用者が使いやすいトイレを整備する。

(4) 多目的トイレ

だれもが使用できる多目的トイレ。トイレ内には, 車いすが 360 度回転できるよう, 直径 1.5m 以上の円が内接できる空間を確保する。2m×2m 以上が望ましい。

(5) 授乳室

授乳中に使用する椅子やおむつ替え台を設ける。調乳が可能な流しや給湯設備の設置が望ましい。ベビーカーを置くスペースも考慮し, 十分なスペースを確保する。

3.2.4 運営ゾーン

(1) 事務室兼監視室

事務室兼監視室は、なるべくプール全体が見通せる位置に計画する。教員やコーチが休憩に利用する休憩室を兼ねる。事務室は、受付窓口、休憩や打合せスペース、給湯設備、収納、設備・監視・警備基盤等が設置されるため、十分なスペースを確保する。

(2) 救護室・医務室

プールでの体調不良者等に対応するため、プールに近い位置に設ける。
救護室には、ベッド2台を設定するほか、処置スペースや収納等のスペースを確保する。

(3) 会議室(控室)

選手控室、役員控室等として利用が可能な会議室。100人程度の会議が可能な規模とし、移動間仕切り等によって2室に分割しての使用も想定する。机、椅子、ホワイトボード等を配置する。

(4) 記録室

大会開催時に協議の判定及びタイムの記録等を行う。平常時は、会議室などとして利用する。プールに面して見通しの良い開口部を設ける。会議室に隣接して設置することが望ましい。

(5) 放送室兼映像操作室

大会開催時に放送を管理する室として利用する。機器及び十分な操作スペースを計画する。プールが見通せる位置に設ける。

3.2.5 管理ゾーン

(1) 倉庫・用具庫

プール備品の収納できる十分なスペースを設ける。プールに近い位置に計画する。

(2) 洗濯室

洗濯機等を設置するスペースとして洗濯室を設定する。

(3) ごみ庫

「福山市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例」に基づき、ごみ保管庫を設定する。

3.2.6 観覧ゾーン

(1) 観覧席

大会利用時に関係者や観客が使用する観覧席。一般席を250席程度、車いす使用者席を3席程度整備する。平常時の保護者などの見学スペースとしても利用する。

また、車いす利用者等が使用可能なエレベーターを設置する。

3.3 必要諸室及び規模

検討の結果、本施設の必要諸室及び規模については、現時点で以下のとおりとする。

表 3-2 本施設の必要諸室及び規模

区分	諸室名称	面積(m ²)	備考	
プールゾーン	25mプール(プールサイト含む)	940	レーン数 8, 入水スロープ, 洗顔・口洗 プールサイト 3m以上(スタート側 5m)	
	通過式洗浄設備			
更衣ゾーン	男子更衣室(ロッカー・シャワー)	130	ロッカー, 洗面, シャワーブース, トイレ	
	女子更衣室(ロッカー・シャワー)		ロッカー, 洗面, シャワーブース, トイレ	
	多目的更衣室		ロッカー, 洗面, シャワーブース	
利用者ゾーン	エントランスホール・風除室	210		
	ラウンジ		ベンチ	
	男子トイレ			
	女子トイレ			
	多目的トイレ			
	授乳室		おむつ替え台, 給湯設備等	
運営ゾーン	事務室兼監視室	340	受付窓口, 設備・監視・警備基盤等	
	救護室・医務室		ベッド等	
	会議室(控室)			
	記録室			
	放送室兼映像操作室			
管理ゾーン	倉庫・用具庫	85		
	洗濯室			
	ごみ庫			
観覧ゾーン	観覧席	175	250 席程度	
諸室計		1,880		
A	更衣ゾーン～観覧ゾーンの計		950	
B	その他	廊下・階段・EV 他	420	A×35%
		機械室		A×10%
C	床面積		2,300	諸室計+B
D	建築面積(※1)		2,050	C-2 階床面積

※1 都市公園法(建ぺい率)により建築面積に制限あり。

※ 諸室の具体や面積は現時点での目安であり、今後の検討によって変動する。

3.4 施設イメージ図

検討内容を踏まえた施設イメージ図は、以下のとおりとする。

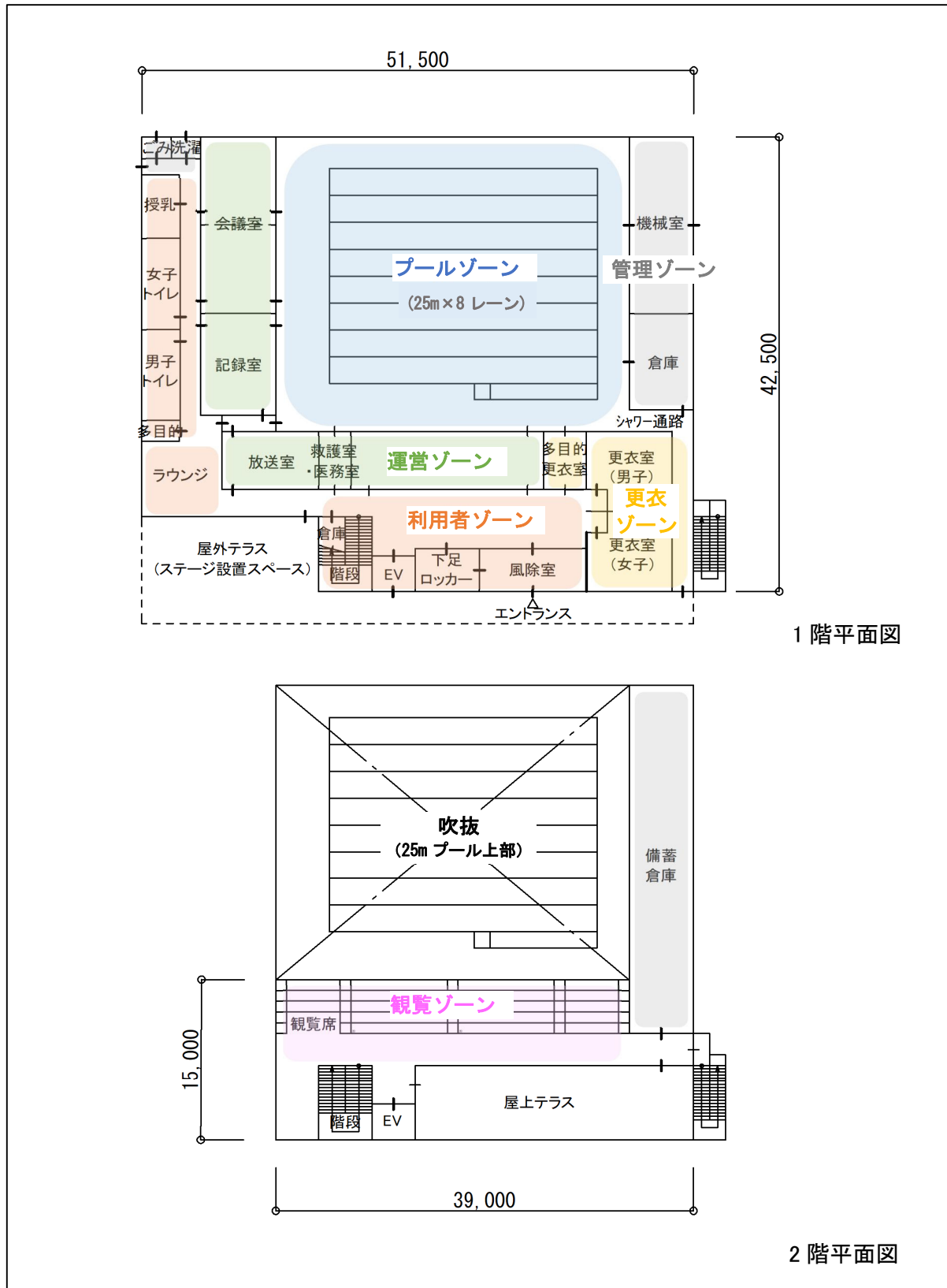


図 3-6 施設イメージ図

3.5 駐車場及び駐輪場の検討

緑町公園に駐車場が 95 台整備されている。本施設整備に伴い、利用者の増加が考えられることから、施設の設計段階において、詳細な検討を行い、当該駐車場を拡張し整備する。

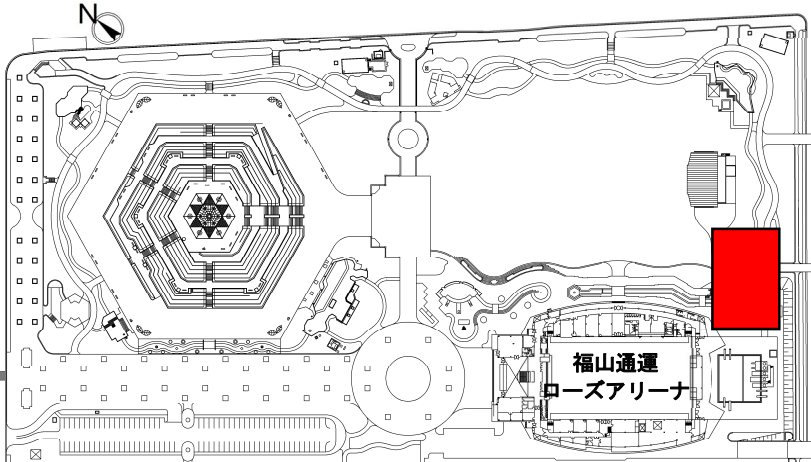
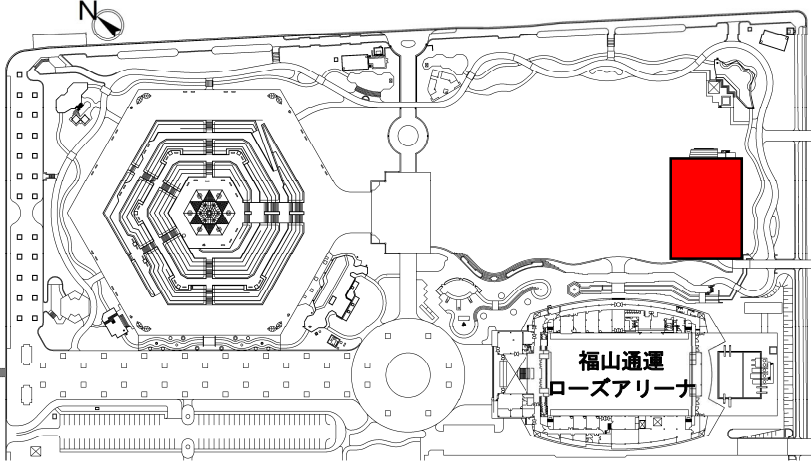
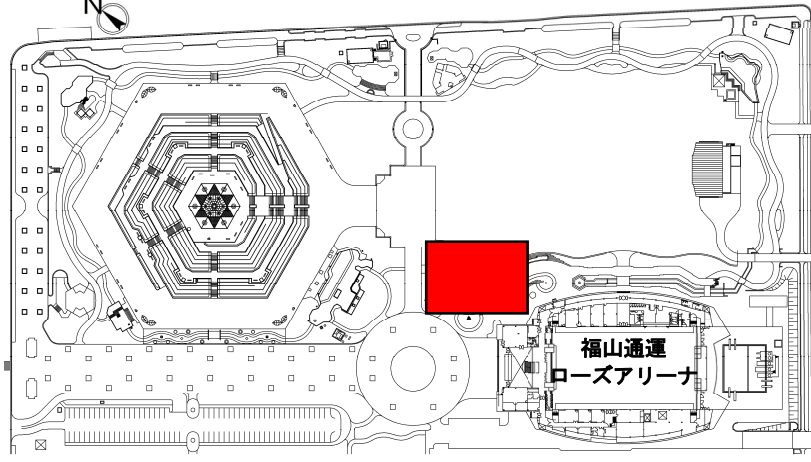
なお、大会やイベント時には公共交通機関の利用の促進や、臨時駐車場の確保を行う等の対応が必要である。

また、利用者の駐輪場が整備されていないことから、駐車場に駐輪場を併設する。

3.6 配置計画の検討

本施設の配置計画の検討にあたっては、緑町公園の既存の緑地や水場に影響の少ない施設配置とする。なお、既存の園路及び水路に影響がある場合、園路・水路の回遊性が失われないよう整備する。また、福山通運ローズアリーナとの一体利用を想定し、連絡性の高い施設配置とする等の視点を踏まえ、配置計画案(A), (B), (C)を比較検討する。

表 3-3 配置計画案比較表

	配置計画案(A) 敷地南側に配置(福山通運ローズアリーナとの連携性を重視)	配置計画案(B) 既存ステージを撤去し配置(ステージ一体型)	計画案(C) 福山通運ローズアリーナ北側に配置
計画概要	<ul style="list-style-type: none"> 既存屋外飛込プールの東側にある既存屋外設備を移設し、新設棟を配置する。 建築を耐火仕様にし、敷地境界線沿いに配置することで、防火樹林帯の機能を補填する。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存ステージを撤去し、新設棟を配置する。 エントランス側に大きなピロティを設置する。 既存ステージのステージ機能及び備蓄倉庫機能は、新設棟に設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 福山通運ローズアリーナのメインエントランスに向かって左手、現カスケードを撤去し、新設棟を配置する。
メリット	<ul style="list-style-type: none"> B, Cと比較して、福山通運ローズアリーナとの連絡動線が確保しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新設棟周りの園路・水路・緑地を既存のまま残すことが出来、既存公園機能及び防災公園機能への影響が少ない。 イベント時には仮設舞台を設置し、ステージとして使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 園路・水路と連絡通路の交差が生じない。 園内のアプローチやエントランス広場を既存利用でき、福山通運ローズアリーナと一本化できる。 新設棟と駐車場の距離が最も近い。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 既存屋外設備の移設が必要。 既存水路及び園路の付替工事が発生する。 緑地が一部減少する。 ステージの搬出入スペースと園路が重複するため、ステージ利用時は注意が必要。 防火樹林帯の一部が失われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 広場面積が減少する。 園路及び水路と、連絡通路が一部交差するため、大会利用時などの連絡通路使用時には園路の周遊性が損なわれ、広場内を迂回する必要がある。 屋外ステージのみ設置する場合、イベント時に上屋が必要な場合は仮設屋根の設置が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> カスケード及び流水施設の撤去により、水遊び施設・緊急時防火用水の一部が失われる。 ピロティの一部は建築面積に含まれるため、大きなピロティは設置できない。
配置案			
評価	△	○	×

3.7 配置計画

比較検討の結果、緑町公園の既存の緑地や水路、園路を残すことができ、また、スプリンクラーや植栽等の防災機能に影響が少ないB案を配置計画とする。

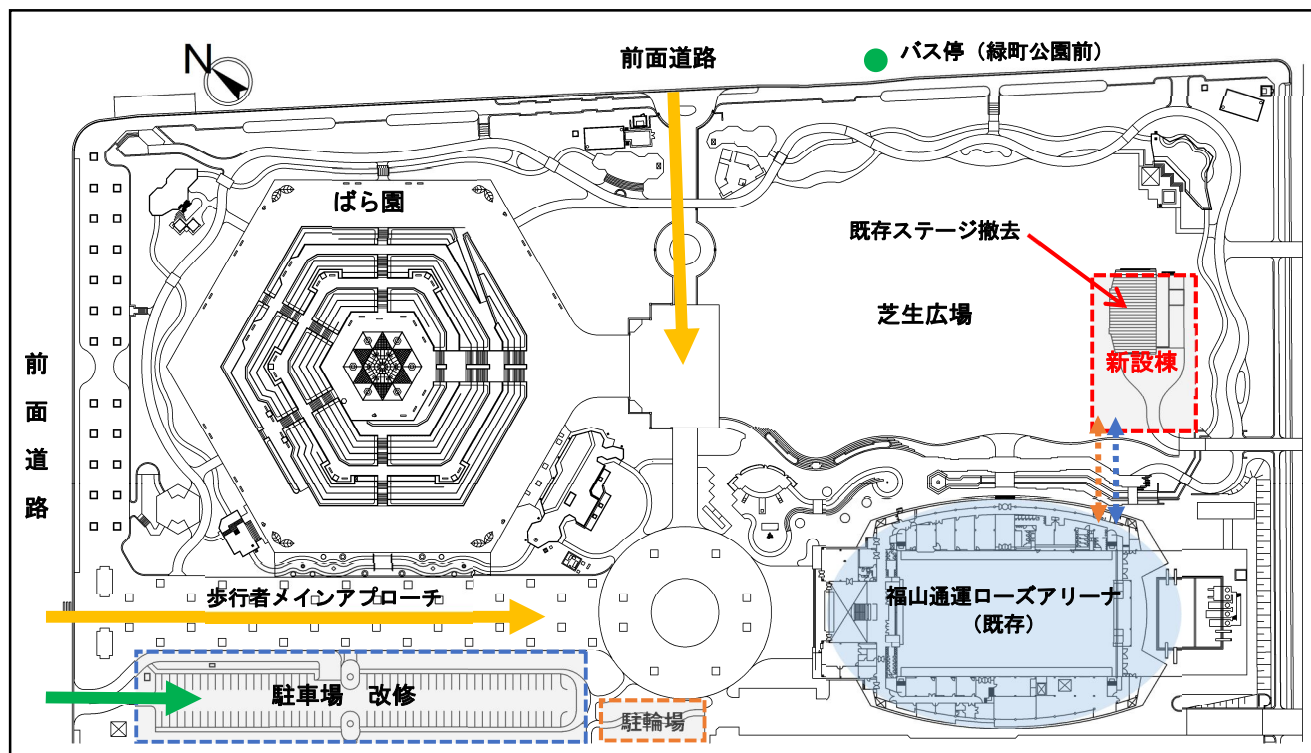


図 3-7 配置計画図

- 新設棟は、緑町公園の既存の屋外ステージを撤去し整備する。新設棟には、イベント時にステージとして使用できるスペース及び備蓄倉庫を確保する。
- 駐車場は、既存の駐車場を拡張する。また、駐車場に駐輪場を併設する。

4 概算工事費及びスケジュールの検討

4.1 概算事業費の検討

本施設に係る事業費として、必要な諸室・設備を想定し、現時点での施設整備費の概算を算出した結果、約 16 億円と見込んでいる。

4.2 事業スケジュール(案)

本施設の整備スケジュール(案)は、次のとおりである。

表 4-1 事業スケジュール(案)

項目	2021 年度 (令和 3 年度)	2022 年度 (令和 4 年度)	2023 年度 (令和 5 年度)	2024 年度 (令和 6 年度)
基本計画策定	●			
基本・実施設計	●	→		
解体工事(屋外ステージ)			●	→
建設工事			●	→

福山市緑町公園屋内競技場屋内プール増設基本計画

2021年(令和3年)12月

福山市市民局まちづくり推進部 スポーツ振興課

〒720-8501 福山市東桜町3番5号

電話：084-928-1106 FAX:084-928-1229

Eメール：sports-shinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp